製品型番

取扱説明書

DS-TV312

テレビを観る前に、必ずオートサーチを行ってください

本製品をはじめてお使いになる場合、オートサーチ（受信チャンネルの読み込み）が必要です。オートサーチを行うことで、はじめてテレビ放送を受信することができます。

（→P14 参照）

地上デジタル放送 ～ワンセグ～ の受信状況について

現在、全国の主要な地域で地上波デジタル放送が開始されていますが、地域状況により放送エリア内であっても以下のようなときは、放送を受信できない場合があります。

～受信障害の主な原因～

①お住まいの地域の周辺に高層ビル等があり放送局からの電波を遮断している

②住宅密集地域や集合住宅、もしくは地下室等で電波状況が芳しくない

③高圧送電線による電波障害の影響がでている

④中継局の設置などのインフラ整備が整っていない

また、各機器に搭載されているチューナーの受信能力には性能差があります。同一地域において異なる２製品を比べた場合、必ずしも双方同一の受信状況が得られるとは限りません。

（→P22～参照）

目次

7インチ ワンセグ専用テレビ
製品型番：DS-TV312
取扱説明書

はじめに

本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用にあたり取扱説明書と保証書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、必要なときにお読みいただけるよう、大切に保管してください。

■セット内容

パッケージの中に以下のものが入っているかよく確認してください。不足品がありましたら、弊社までお問い合わせください。また改良のため、予告無くパッケージ内容が変更されることもあります。予めご了承ください。

●テレビ本体　●専用アンテナ　●リモコン　● AV ケーブル
●AC アダプタ　●車載用 DC アダプタ（12V 車専用）
●取扱説明書　●保証書

■使用上の注意

●建物の陰や窓際から遠い室内、地下などでは、電波が届かないため、使用することができません。また屋外でも、電波が弱いところでは映像を映し出せない場合がありますのでご注意ください。
●本製品の AC アダプタの電圧が家庭用コンセントの電圧と合っているかを確認してください（AC100–240V）。
●本製品をクリーニングする場合、シンナー、ベンジン、アルコール等の有機溶剤は使用しないでください。
●本製品を長期間使用しない場合は、コンセントを抜いてください。
●夏の暑い車中や直射日光のあたる場所、火気の近く等、極端に温度の高い場所での使用や放置はおやめください。本体の変形や、故障の原因となります。
●静電気の多い場所や､ほこりの多い場所で使用しないでください。故障の原因となります。
●風呂場等、水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はおやめください。また、濡れた手で本製品を操作しないでください。ショートによる故障および感電の原因となります。
●本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。ご自身による分解が原因で故障した場合、修理をお断りいたします。
●本製品を落としたり、踏んだりしないでください。また、加重を与えたり、上に重たいものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。
●本製品から異臭がする、煙が出る、異常な音がする等の症状が見られたら、電源プラ

グをコンセントから抜いて、速やかに弊社サポートセンターまでご連絡ください。

●本製品は、日本国内の地上デジタル放送（ワンセグ）を受信するためのものです。海外ではご使用になれません。また国内であっても、地上デジタル放送を開始していない地域では番組を受信できません。

●小さなお子様が本製品を使用する場合には、電気製品の取り扱いを理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

●コネクタに付属の専用ケーブル以外の異物を挿入しないでください。ショート､感電、発火のおそれがあります。

●本製品の仕様に関しまして､本書の説明と明らかに異なる操作や目的に使用した場合、故障や損傷または身体に及ぶ障害の原因となりますので絶対におやめください。この場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

■車載でのご使用について

●本製品は車載専用機ではありません。真夏・真冬の車内等、過酷な状況下での使用や置き去りは、故障や事故の原因となり非常に危険です。絶対にしないでください。

●自動車のエンジン始動時は、シガーソケットからの電圧供給が不安定です。本製品を車載で使用する場合、DC アダプタを差し込んだままエンジンを始動すると、テレビ本体に無理な負荷をかけ、故障の原因となる場合があります。機器接続は、エンジンがかかった状態で行なってください。

●本製品を車内でご利用になる場合は、運転に支障が出ない位置に設置してください。

●運転中の視聴および操作は大変危険ですので、絶対におやめください。

●DC アダプタが使用できる電源は、12V・2A です。使用前にお車の電源の電圧、および極性を確認してください。異なる電圧（24V など）のシガーソケットに差し込んで使用しますと、発熱、発火、故障の原因となります。
※ 24V 車では使用しないでください。

●お車での使用時､接続する機器や車種によっては稀にノイズが発生する場合があります。

●オートサーチした地域の外に出ると、それまでにご覧になっていたチャンネルを受信できなくなります。地域を変更した場合、再度オートサーチをやり直してください。

●大きな建物のそばやトンネルの中等では、電波の受信状況が悪く、テレビが映らなくなることがあります。その場合は、電波の受信状態が良くなるよう、設置場所やアンテナの向きを変えてください。

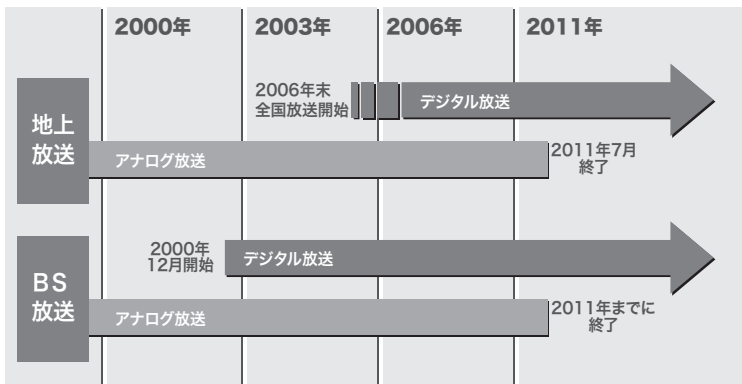
■予めご了承いただきたいこと

1. 本書の内容､本製品の仕様･外観等については､将来予告なしに変更する事があります。
2. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたら､当社のカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

3. 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断でのご使用はできません。
4. 万一、本機使用により生じた損害、取扱説明書記載以外の使用方法による故障、損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
5. 接続機器との組み合わせによる誤作動等から生じた故障や損傷に関しましては当社では一切の責任を負えません。
6. 地震や雷等の自然災害、火災、第三者からの行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、その他の明らかに異常な条件下での使用によって生じた故障や損傷等の損害に関しましては当社では一切の責任を負えません。
7. 故障、修理、その他の理由に起因する損害および、逸失利益につきまして、当社では一切の責任を負えません。
8. 保証書への購入日・購入店の記載のないもの、保証書に記載された内容に相違のある場合等、　当社では一切の責任を負えません。
9. 本製品は、一般家庭内でのご使用を目的として製造されております。業務用（店頭ディスプレイ･営業宣伝活動での使用等）として使用した場合、保証の対象外となります。また、日本国外での使用に関する保証、およびサポート対応はできません。

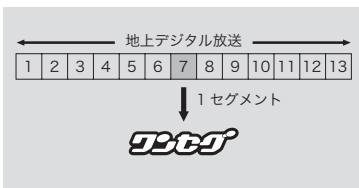
デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大都市圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、2006 年 12 月には全国都道府県庁所在地で放送が開始されました。該当地域における受信可能エリアは当初限定されていますが、順次拡大しています。

地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

ワンセグについて

「ワンセグ」とは、日本において主に携帯電話等の移動体端末や、携帯機器を受信対象とする地上デジタル放送です。従来の地上アナログ放送と比較して、移動中でも安定して受信できる工夫がなされています。

2006 年 12 月に全国都道府県で放送を開始し、現在ではほぼ全ての放送局で開始されています。

「ワンセグ」は、地上デジタル放送の 6 メガヘルツの帯域を 13 セグメントに分けて送信する日本独自の放送方法によって実現したサービスで、13 のセグメントの真ん中の 1 セグメントを使用して映像、音声、データが得られます。

ワンセグの番組サービスは、基本的に通常のテレビ受信機向けの番組と同じ内容です。そのため、普段ご家庭で見慣れた番組を外出先で楽しむことが可能です。

※チャンネル番号は、アナログ放送とは異なります

ワンセグ視聴中に起こる、以下のような症状は故障ではありません

■ワンセグ放送を含む地上デジタル放送は、実際の時刻とのタイムラグが発生します

正確な時刻どおりに番組が始まらないなどの状態は、放送の特性上のものであり機器の故障ではありません（数秒の遅れが発生します）。

■車など移動時での視聴では、電波状況が刻々と変化しています

電波が弱い場所に入ると、急に音声が途切れ途切れになったり、画面が乱れたり、画像が静止したり、まったく映らなくなったりすることがあります。アンテナの位置を調整したり、電波状態の良い場所に戻ることで平常に視聴することができます。

※地上デジタル放送は、受信ができない地域や電波が弱い地域では、画面が全く映らない状態になったり音声が途切れたりする状態になります。アナログ放送のように、「乱れた画像だが “ かろうじて ” 視聴できる」というような状態にはなりません。

※お車での使用時、接続する機器や車種によっては、稀にノイズが発生する場合があります。

■車など移動時での視聴では、放送エリアが変わる場合があります

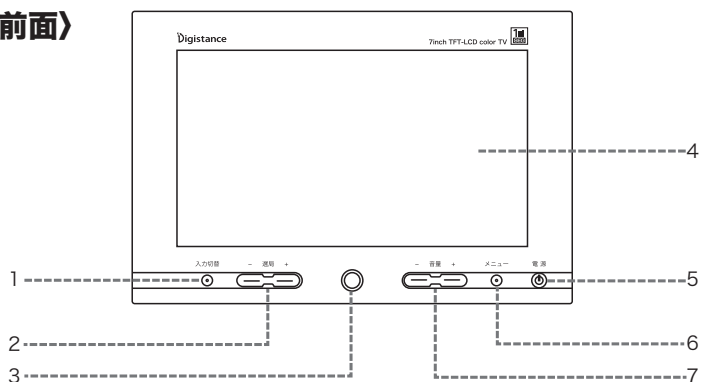
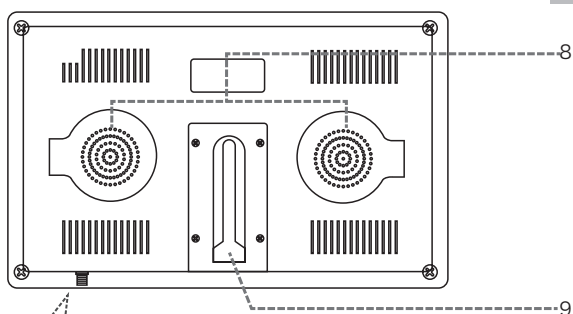
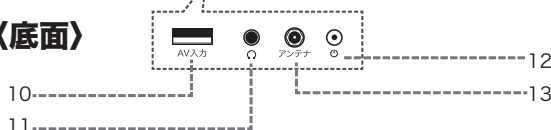
地上デジタル放送の電波は、地域によってチャンネル割り当てが異なります。その為、放送エリアが変わると急に視聴ができなくなることがあります。

（例　車で移動中に県をまたいでしばらくしたら、今まで視聴できていたチャンネルが急に映らなくなった等…。）

放送エリアが変わった場合は、再度チャンネルのオートサーチを行ってください。

1 テレビ・リモコンの各部機能

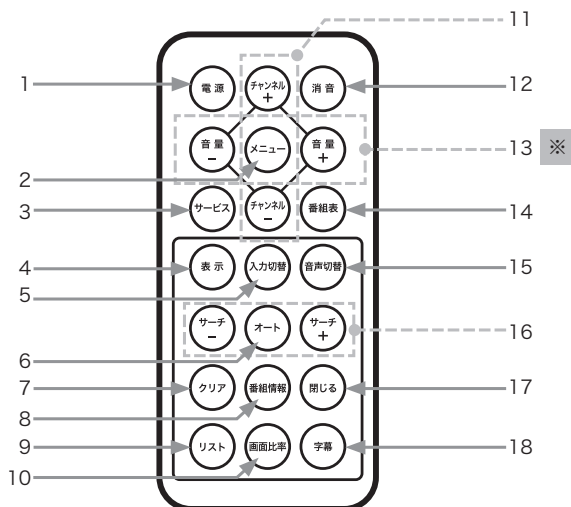
テレビ本体／各部名称と機能

〈前面〉

〈背面〉

〈底面〉

〈各部機能の紹介〉

No.	名称	機能
1	入力切替ボタン	TV ／ AV 入力を切り替えます
2	選局ボタン	チャンネルを切り替えます
3	リモコン受光部	リモコン操作はここに向けて行ないます
4	液晶画面	出荷時は、保護用フィルムが貼られています
5	電源ボタン	電源のオン／オフを切り替えます
6	メニューボタン	メニュー画面を開きます
7	音量ボタン ＊1	音量を調節します
8	スピーカー	音声を出力します
9	スタンド差し込み口	付属のスタンドを溝に沿って接続します
10	AV 入力	DVD プレーヤーなどの外部機器を接続します ＊2
11	イヤホン出力	イヤホンを接続します
12	電源入力	電源アダプタを接続します
13	アンテナ入力	アンテナを接続します

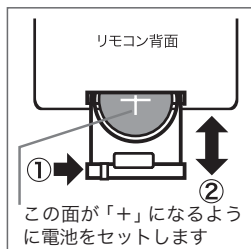
ここでは各部の名称、および簡単に機能の紹介をしました。具体的な使用法、詳細については各接続、および使用方法の紹介ページをご覧ください。

＊1：TV 視聴時の音量調節については、P15 の「③音量調節」をご覧ください。
＊2：外部機器の接続には、専用の AV ケーブルをご使用ください。

リモコン／各部名称と機能

機能紹介

No.	名称	機能
1	電源	電源のオン／オフを切り替えます。
2	メニュー	メニュー画面を表示します。
3	サービス	本製品では使用しません。
4	表示	現在のチャンネルの情報、電波状態を表示します。
5	入力切替	テレビ／ AV（外部）入力を切り替えます。
6	オート	チャンネルのオートサーチ（チャンネル読み込み）を行ないます。
7	クリア	読み込んだチャンネルを消去します。再度番組を観るためにはオートサーチをやり直す必要があります。
8	番組情報	番組情報を表示します。
9	リスト	現在視聴可能なチャンネルの一覧を表示します。
10	画面比率	画面の比率を切り替えます。
11	チャンネル＋／–	チャンネルを切り替えます。
12	消音	音声を一時的に消します。もう一度押すと、元の音量に戻ります。
13	音量＋／– ※	音量を調節します。
14	番組表	現在視聴しているチャンネルの番組表を表示します。
15	音声切替	音声を切り替えます
16	サーチ＋／–	現在視聴しているチャンネルから＋：昇順／–：降順方向に、受信可能なチャンネルを探します。
17	閉じる	番組表、チャンネル一覧、チャンネル情報、番組情報などの画面を閉じます。
18	字幕	字幕を切り替えます。

※ TV 視聴時の音量調節については、P15 の「③音量調節」をご覧ください。

リモコン用電池のセット／交換

①リモコンを裏面にし、リモコンの底部左側にある爪を右に押します。
②爪を押したまま、底部中央の切り込みをつまんで手前に引き出します。電池のトレイが引き出されます。
③電池を交換します。セットするボタン電池は " ＋ " と書かれている面が表です。裏表を間違えないようにしてください。電池のトレイをリモコンに差し込んで戻します。

※リモコンの電池は、ボタン型リチウム電池（CR2025）です。製品付属の電池は動作確認用になります。通常ご使用になる分は、別途ご用意ください。
※初めてリモコンを使用する場合、電池トレイの底面に透明なプラスチックの絶縁フィルムが挟み込まれていますので、それを引き出してから使用してください。
※長期間使用しない場合は、リモコンの電池を取り出して保管してください。

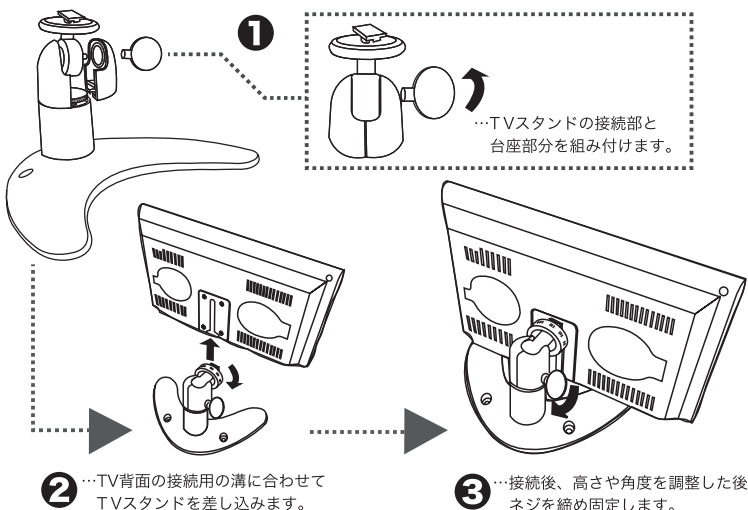
2 アンテナ・電源その他の接続

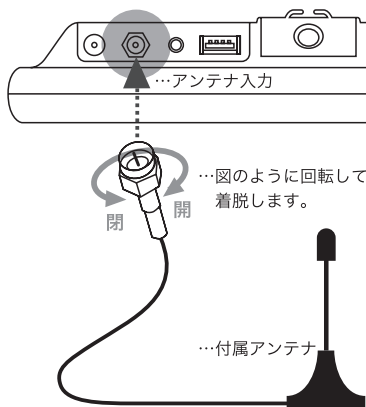
本章ではアンテナや、各種電源供給に関する接続、本製品と外部機器（DVD プレーヤーなど）の接続を紹介します。

特にお車からの電源供給に関しては使用方法を誤ると、故障や事故につながり大変危険です。注意事項を守り、正しくお使いください。

**※ワンセグテレビ放送の受信には、本章の各種接続を終えた後、次章で紹介する「オートサーチ：チャンネル読み込み」の操作をする必要があります。
オートサーチを行わないと、ワンセグテレビ放送を受信することはできません。**

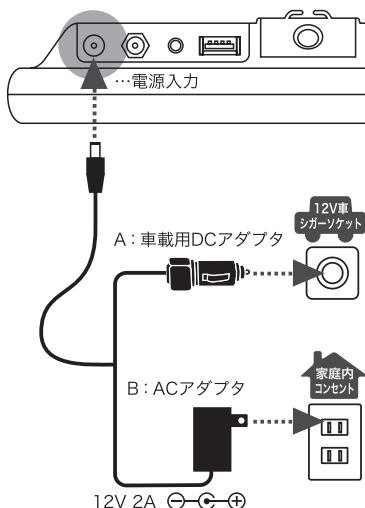
専用テレビスタンドの設置

本製品には視聴時に便利な、専用テレビスタンドが付属します。次の❶〜❸の手順で組み立ててください。

※固定用の締め付けネジはプラスチック製です。きつく締めすぎると破損してしまいます。

①アンテナとの接続

付属アンテナを、テレビ本体底面のアンテナ入力に接続します。接続部の先端はネジ式です。左図を参考に回転して固定してください。

**※アンテナは平らな場所で、できるだけ窓際に設置してください。
また、同じ場所でも位置や向きにより受信感度が異なります。次章に紹介するオートサーチ(チャンネル読み込み)で受信状況が悪い場合は、設置場所やアンテナ角度を調整した後、再度オートサーチを行ってください。**

※アンテナ端子変換コネクタを、別売にてご用意しています。これは本製品のアンテナ端子を変換し、ご家庭の壁のアンテナ線から取り回したＦ型コネクタとの接続を可能にするものです。ご使用の条件として、ご家庭のテレビアンテナ線にデジタル放送の電波が入っている必要があります。ご入用の際は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

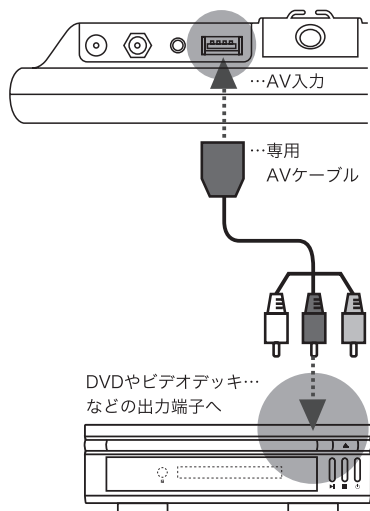
②電源の接続／ AC・DC アダプタによる電源供給

テレビ本体底面の DC 電源入力に、付属の AC（もしくは DC）アダプタを接続し、壁のコンセント(車載時は 12V 車のシガーソケット）に差し込みます。

※電源につないだまま放置しないでください。未使用時や長時間使用しないときは、必ずテレビ本体からアダプタを取り外してください。

<車載でお使いの場合の注意>

●本製品付属の DC アダプタは 12V 車専用です。24V 車ではお使いになれません。

●自動車のエンジン始動時は、シガーソケットからの電圧供給が不安定です。本製品を車載で使用する場合、DC アダプタを差し込んだままエンジンを始動すると、テレビ本体に無理な負荷をかけ、故障の原因となる場合があります。機器接続は、エンジンがかかった状態で行なってください。

③外部機器の接続

DVD プレーヤー等を接続し、本製品をモニタとしてお使い頂く場合の接続です。

本製品をテレビ放送の受信だけにお使いの場合は、接続の必要はありません。必要に応じて接続を行ってください。

付属の専用 AV ケーブルを使って、テレビ本体底面の AV 入力と DVD など外部機器の AV 出力を接続します。

※本接続のように、AV 入力を使い外部機器の映像・音声を出力する場合は、本テレビを AV モードに切り替える必要があります。
詳しくはリモコン機能の紹介ページをご覧ください。

※ここで紹介した AV 入力の端子形状は USB の形状をしていますが、フラッシュメモリやチューナー機器、その他 PC 関連製品を接続してもご使用頂けません。

チャンネル読み込み テレビ視聴

オートサーチは、本製品を初めて使用する前に必ず行う操作です。
オートサーチを行わないと、テレビ放送を受信することはできません。
また、移動により放送エリアが変わったときにも必ずオートサーチを行ってください。

■テレビを使用する前に…オートサーチ

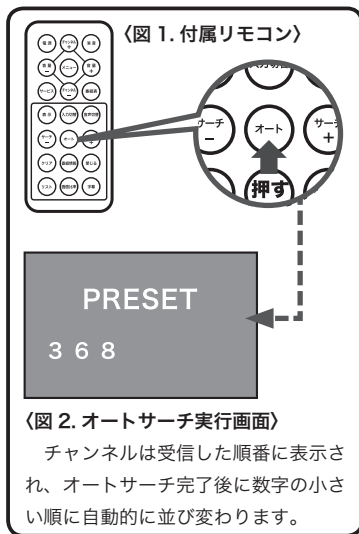
2章に記載のアンテナ、電源の接続を終えてから、以下の手順で行ってください。

テレビ本体のボタン、またはリモコンを使って操作が可能です。リモコンを使用する場合は事前に電池をセットし、テレビ本体の受光部にしっかりと向けて操作を行ってください。

手順

〈図 1. 付属リモコン〉

〈図 2. オートサーチ実行画面〉

チャンネルは受信した順番に表示され、オートサーチ完了後に数字の小さい順に自動的に並び変わります。

❶電源ボタンを押して電源をオンにします。

❷入力切替ボタンを押し、テレビモードが選択されているのを確認してください。

❸リモコンのオートボタンを押します（図1)。画面に PRESET と表示され、オートサーチが実行されます（図2：開始されるまで数秒かかります)。

❹オートサーチが終了したら、チャンネルを切り替え、受信内容を確認してください。「選局＋／ーボタン」を押すと、前後のチャンネルに移動します。

…ここで紹介する方法以外に、セットアップ画面内の操作でもオートサーチが行なえます。

※「選局＋／ーボタン」で合わせせられるチャンネルは、オートサーチで登録されたチャンネルに限られます。アナログ放送に比べ、チャンネルの切り替えには時間がかかります。

■テレビ視聴時の各種操作

①電源

電源のオン・オフを切り替えます。

②チャンネル切替

リモコンまたはテレビ本体の「選局＋／–ボタン」を押すと、チャンネルが切り替わります。

※アナログ放送とはチャンネル番号が異なります。

③音量調節

リモコンまたはテレビ本体の「音量＋／–ボタン」を押すと、音量が変わります。

テレビ視聴時の音量調節については、２種類の操作方法があります。

A：リモコンによる音量調節
（操作時の表示）

B:メニュー画面内の音量調節
（操作時の表示→P19）

テレビ視聴時に限り、各々独立した機能としてコントロールされています。
そのため上記ABの片方を最大音量にしても、もう一方が小音設定にあると「出力音声が小さい」といったことが起こります。テレビ視聴時に音声が思うように出力されない場合は、上記A・Bの設定を確認してください。

④消音

リモコンの「消音ボタン」を押すと、消音状態になります。もう一度「消音ボタン」を押すと、消音状態が解除され音声が出るようになります。

⑤音声切替

音声多重放送に対応した番組を視聴中は、音声が切り替わります。

● Main：主音声　● Sub：副音声
● Main/Sub：主音声＋副音声

⑥画面表示

リモコン、またはテレビ本体の「インフォボタン」を押すと「現在のチャンネル、選択状態にある音声多重放送の仕様」を画面に表示します。

※チャンネルを何も受信していないときは画面表示機能は使用できません。

⑦クリア

オートサーチで登録されたチャンネルを削除します。再びご覧になりたい場合は、オートサーチを行ってください。

⑧サーチ（＋／–）

現在受信中のチャンネルの周波数よりも大きい（小さい）数値に向かって、テレビ放送が受信できるチャンネルを探します。オートサーチで登録されていないチャンネルも対象とします。

⑨チャンネルリスト

現在、視聴可能なチャンネルの一覧を表示します。

リモコンのリストボタンを押すと表示され、閉じるボタンを押すと消えます。

チャンネル数が多く、一画面で表示しきれない場合には、何画面かに分割して表示されます。方向ボタンの上下で画面が切り替わり、隠れているリストが表示されます。

⑩番組表（簡易EPG）

画面上に、番組の一覧を表示させることができます。現在の時刻近辺の番組を表示します。

リモコンの番組表ボタンを押すと表示され、閉じるボタンを押すと消えます。

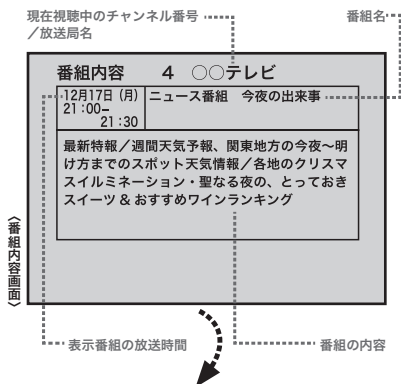
表示される番組数は、放送局によって異なります。

表示される番組表が多数ある場合は、複数画面に分割して表示されます。リモコンの上下方向ボタンで画面が切り替わり、別の時間の番組表が表示されます。

※番組表は、ワンセグ放送の受信中に限り表示が可能です。

⑪番組情報

画面上に、現在視聴している番組の情報を表示させることができます。

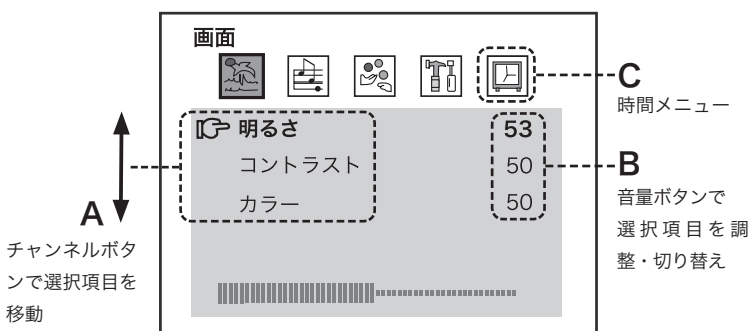
リモコンの番組情報ボタンを押すと表示され、閉じるボタンを押すと消えます。

表示される番組数は、放送局によって異なります。

表示される番組情報が多数ある場合は、複数画面に分割して表示されます。リモコンの上下方向ボタンで画面が切り替わり、別の時間の番組情報が表示されます。

※番組情報は、ワンセグ放送の受信中に限り表示が可能です。

4 メニュー画面での各種設定

メニュー画面での主な操作方法

付属のリモコン、または本体のメニューボタンを押すと、本体の設定ができるメニュー画面が開きます。メニューボタンを押すたびに、画面→音量→設定→システム→時間の順にメニュー画面が切替ります。

メニュー画面に表示されている項目のうち、指のマークが先頭にあり、赤い文字で表示されているものは現在選択中の項目です。

- 「チャンネル –／＋」ボタンを押すと、選択項目が上下に移動します（上図 A)。
- 「音量 –／＋」ボタンを押すと、選択されている項目の設定を変更できます（上図 B)。
- 「時間」メニューを開いているときにメニューボタンを押す、または一定時間操作がなかった場合、メニュー画面が閉じられます（上図 C)。

①画面

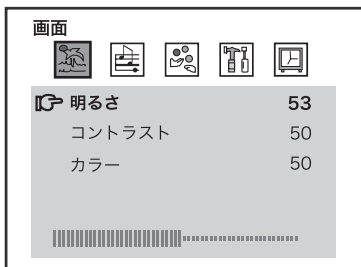
●明るさ

画面の明るさを、0 〜 100 までの範囲で調節できます。明るさを選択し、音量–または音量 + ボタンで調節します。

●コントラスト

画面のコントラスト（明暗の差）を、0 〜 100 までの範囲で調節できます。コントラストを選択し、音量–または音量 + ボタンで調節します。

●カラー

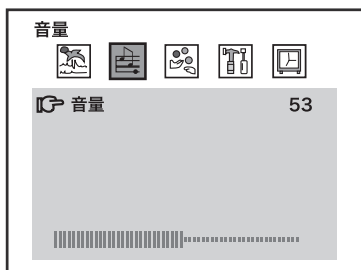
画面の色の濃さを、0 〜 100 までの範囲で調節できます。カラーを選択し、音量–または音量 + ボタンで調節します。

リモコンまたは本体のメニューボタンを 1 回押すと、画面メニューが開きます。

②音量

●音量

音量–または音量 + ボタンを使用し、0 〜 100 までの範囲で音量を調節できます。0 のときは音声が出ません。

※メニュー画面を出さずに本体またはリモコンの音量 (+/–) ボタンでも音量調節は可能です。

※テレビ視聴時に限りメニュー画面内の音量調節と、リモコン操作による音量調節は、各々独立した機能としてコントロールされています。
詳しくは、P15 に記載の「③音量調節」をご覧ください。

リモコンまたは本体のメニューボタンを 2 回押すと、音量メニューが開きます。

③設定

リモコンまたは本体のメニューボタンを３回押すと、設定メニューが開きます。

●ブルーバック（AV 入力時のみ有効）

何も表示されていない状態の代わりに、青い画面を表示します。ブルーバックを選択し、音量–または音量＋ボタンでオン、オフを選択します。

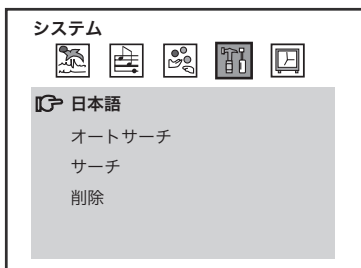
④システム

リモコン、または本体のメニューボタンを４回押すと、システムメニューが開きます。

システム設定内の項目は、テレビ視聴時と外部 AV 入力時とでは表示される内容が異なります。右下図 A・B をご確認ください。

●言語

メニュー画面で表示される言語を音量–または音量＋ボタンで選択できます。選択できる言語は日本語／ ENGLISH です。

※本説明書では「日本語」を選択した場合について説明します。

〈A：テレビ視聴時のメニュー画面の表示〉

●テレビシステム

TV 方式を切り替えることができます。接続する外部機器にあわせてお使いください。

テレビシステムを選択したら、音量–または音量＋ボタンを押して、NTSC、PAL、SECAM、AUTO（自動）から選択できます。

※日本国内で製造されている製品のほとんどは NTSC 方式が採用されています。通常は NTSC または AUTO を選択してください。
※テレビ視聴時は選択できません。

〈B：外部 AV 入力時のメニュー画面の表示〉

●オートサーチ

現在受信可能な全てのチャンネルを探します。オートサーチ実行後は見つかったチャンネルに選局−、選局＋ボタンで合わせることができます。

オートサーチを選択し、音量−または音量＋ボタンでオートサーチを実行します。

〈オートサーチ実行画面〉

PRESET

3 6 8

チャンネルは受信した順番に表示され、サーチ完了後、数字の小さい順に自動的に並び変わります。

※リモコンのオートボタンを押しても、同様に機能します。
※この操作は、外部入力（AV）モードでは選択できません。

●サーチ

現在選局中のチャンネルに隣接した受信可能なチャンネルを探します。サーチを選択し、音量−または音量＋ボタンでサーチを実行します。

〈サーチ実行画面〉

音量＋ボタンでプラス方向、音量−ボタンでマイナス方向のチャンネルを探します。

※リモコンのサーチボタンを押しても、同様に機能します。
※この操作は、外部入力（AV）モードでは選択できません。

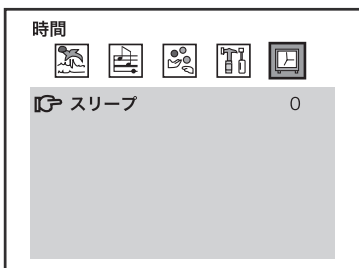
●削除

オートサーチで見つけたチャンネルを全て削除します。削除を選択し、音量−または音量＋ボタンで実行します。

TV を受信するときは、再度オートサーチを実行してください。

※この操作は、外部入力（AV）モードでは選択できません。

⑤時間

リモコンまたは本体のメニューボタンを５回押すと、時間メニューが開きます。

●スリープ

設定した時間が経過すると、自動的に電源がオフになります。

スリープを選択し、音量−または音量＋ボタンで時間を設定します。0（解除）〜240（分）まで設定できます。

＊ここでの時間はあくまで目安であり、正確な時間ではありません。

5 故障かな？と思ったら

主な不具合の原因と、その解決方法

起動しない

●電源ランプが点灯しているかを確認してください。点灯していなければ、電源ケーブルの配線を確認してください。
●電圧の合ったコンセントにしっかりと差し込まれているかを確認してください。
●車載でご使用の場合は、お車のシガーソケットの電源が 12V であることを確認してください。異なった電源を使用すると、ショートや故障、事故等の原因となります。
※24V 車では使用できません。車載 DC アダプタを別途ご購入の際は、DC12V、2A のものをお選びください。それ以外の電源を使用すると、故障や事故の原因となります。

音声も映像も出ない

●電源が入っているかを確認してください。
●初期設定のオートサーチは行われていますか？
●受信中のチャンネルで放送が行われていることを確認してください。
●電波の受信状況が悪いことが考えられます。アンテナを窓際の受信しやすい場所に置いてください。

映像は出るが音声が出ない

●イヤホンを接続していませんか？
●音量が 0 になっているか、消音ボタンが押されていませんか？
●メニュー画面から音量を選択し、こちらの音量も調節してください。
●テレビ視聴時に限りメニュー画面内の音量調節と、リモコン操作による音量調節は、各々独立した機能としてコントロールされています。詳しくは、P15 に記載の「③音量調節」をご覧ください。

音声や映像が途切れる

●周囲に建物がある等で電波の受信状況が悪いと、このような状態になります。受信状態が不安定な場合は、受信しやすい場所に移動するか、アンテナの位置や向きを調節してください。

画面全体が灰色になる

●画面メニュー「カラー」の値が 0 になっていませんか？　メニューボタンを 1 回押し、画面メニュー内の「カラー」を選択し調整してください。

本製品が正常に動作しない場合は、こちらのトラブルシューティングをお読みください。不具合の原因と、その解決方法を確認することができます。

P02 ～ 05 記載の注意書き、および本トラブルシューティングをお読みになっても問題が解決されない場合は、保証書の内容をご確認の上、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

（AV 入力モードのとき）

●テレビ方式（PAL、NTSC、SECAM）の設定と、外部接続機器の設定が一致していない可能性があります。メニューボタンを４回押し、システムメニューから「テレビシステム」を選択し、外部機器のテレビ方式に合ったもの、または「AUTO」を選択してください。

※日本国内では NTSC が採用されています。

番組を受信できない

●お住まいの地域でワンセグ放送が開始されているか、ご確認ください。

●アンテナの位置が受信しやすい場所に設置されているか、ご確認ください。

●オートサーチが完了していることをご確認ください（P14 参照）。また、オートサーチを行った地域と異なる地域で視聴していないかをご確認ください。チャンネル編成は地域により異なるため、地域が変わったら再度オートサーチを行ってください。

ワンセグ放送受信に関する補足

現在、全国の主要な地域ではデジタル放送が開始されていますが、地域の状況により放送エリア内であっても受信できない場合があります。

受信障害の主な原因として、次のことが考えられます。お使いの地域の周辺に高層ビルや山等があり、放送局からの電波を遮断している／住宅密集地域や集合住宅で電波状況が芳しくない／高圧送電線による電波障害の影響がでている／電波中継局の設置などのインフラ整備が整っていない。

また、各機器に搭載されているチューナーの受信能力には性能差があります。

特に携帯電話は、屋外での不安定な電波状況での使用を前提としているため、チューナーにブースターを搭載するなど設計・受信方式が根本的に違います。

携帯でワンセグ放送が受信ができるから、同じ状況下で他のワンセグ機器でも同様に受信できるとは限りません。

＜ワンセグ放送受信エリアに関する、インターネット上の参考 URL ＞

●社団法人デジタル放送推進協会～放送エリアの目安
http://vip.mapion.co.jp/custom/D-PA/

●総務省　地上デジタル放送中継局ロードマップ
http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/dtv/zenkoku/roadmap1.html

希望のチャンネルに合わせられない

●オートサーチの方法は正しいですか？
オートサーチを行った際に、希望のチャンネルを受信できなかった可能性があります。受信感度の良い場所にアンテナを移動し、再度オートサーチを行ってください。受信感度が悪い場合は、希望のチャンネルを受信できない場合があります。

チャンネルと番組が一致しない

●オートサーチを行った地域と異なる地域で視聴していないかをご確認ください。チャンネル編成は視聴地域により異なるため、地域が変わったら再度オートサーチを行ってください。

チャンネルの切り替えが遅い

●ワンセグを含むデジタル放送は、電波を通じて受け取ったデジタル信号を、音声や映像に展開するため、若干時間がかかります。

●受信感度が悪い場合は、さらに時間がかかることがあります。本体およびアンテナを受信感度の良い位置に移動してください。

リモコン操作が効かない

●リモコンと本体との間に障害物はありませんか？

●リモコンが本体に向けられていますか？
本体の受光部との角度や距離が大きすぎていませんか？

●リモコンの電池は正しく装着されていますか？

●リモコンの電池が切れていることが考えられます。使用する電池はボタン型リチウム電池 CR2025 です。

●本体に付属している電池は、動作確認用となりますので、長く使えないことがあります。

ボタン操作が効かない

●電源投入およびチャンネルの切り替え直後や、電波状態の悪い場所での視聴中は本体で重い処理を行っているため、反応に時間がかかることがあります。
この状態で繰り返しボタン操作を重ねると、後で全ての操作が反映され、思わぬ動作を起こすことがあります。少し様子を見て反応がないことが確認されたら、再び同じボタンを押してください。

スリープ設定した時間に電源が切れない

●スリープまでの時間はあくまで目安です。正確な時間に電源が切れるとは限りません。

製品仕様／お問い合わせ先

製品名	ワンセグチューナー搭載 7 インチ TFT カラーモニターテレビ
製品型番	DS-TV312
本体サイズ	194 ×135 ×35 mm（横幅 × 高さ × 奥行） （スタンド取付時の高さ：168 ～ 190（可動式）× 奥行：102 mm）
本体カラー	ブラック
本体重量	460g（スタンド取付時／ 570g）
電源	DC 12V（DC IN 端子）
AC アダプター	電源：100–240V　50/60Hz ／皮相電力：20–50VA DC 出力：12V　2A
消費電力	11W ／待機時は 0.3W （区分名：BX、年間消費電力量：20kWh/ 年）
液晶パネル	7 インチ（16：9）／水平 480× 垂直 234 ／ 1677 万色
画面輝度／コントラスト比	250cd/l ／ 400：1
視野角	上下 65°～ 50°／左右 65°～ 65°
応答速度	35ms
チューナー	ISDB-T 1Segment ／ UHF 13 ～ 62ch （アナログ放送の受信はできません）
オーディオ出力	1W
入出力端子	AV 入力（付属ケーブルはテレビ接続側のみ専用端子形状） アンテナ入力／イヤホン出力（3.5 φ）
動作環境	5 ～ 35℃
製造国	中国

※製品の外観や仕様は改良のため、予告無く変更する場合があります。

製造元

株式会社 ゾックス

〒 231–0033　神奈川県横浜市中区長者町 3–8–13　TK 関内プラザ 304

TEL：0120–602–302

ホームページ　http://www.zox-net.com

お電話でのお問い合わせは：月～金 10 時～ 17 時

※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。

MADE IN CHINA